【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2016-122148(P2016-122148A)
【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2016-040
【出願番号】特願2014-263312(P2014-263312)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　9/10　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　9/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　9/10　Ａ
Ｇ０３Ｂ　9/02　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月18日(2017.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光を通過させる開口部と、
前記開口部を開閉する方向に変位可能な羽根部材と、
を備えた光量調節装置であって、
前記羽根部材は、
本体部と、
前記本体部の上に配設され、前記本体部よりも小さい面積を有する補強部と、
前記本体部と前記補強部との間に介在し、これらを接合する接合部と、を備え、
前記補強部は、前記羽根部材が前記光量調節装置の他の部分と当接する部位を構成すると共に、前記接合部は前記他の部分と接触しないように形成されている、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項２】
光を通過させる開口部と、
前記開口部を開閉する方向に移動される羽根部材と、
を備えた光量調節装置であって、
前記羽根部材は、
本体部と、
前記本体部の上に配設され、前記本体部よりも小さい面積を有する補強部と、
前記本体部と前記補強部との間に介在し、これらを接合する接合部と、を備え、
前記補強部は、前記羽根部材が前記光量調節装置の他の部分と当接する部位を構成すると共に、前記他の部分は、前記接合部と接触しないように形成されている、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項３】
請求項１に記載の光量調節装置であって、
前記接合部の周縁は、前記補強部の周縁のうち、前記他の部分と当接する部分から離れている、
ことを特徴とする光量調節装置。

【請求項４】
請求項１に記載の光量調節装置であって、
前記羽根部材は、前記接合部と前記他の部分との間に介在して、これらの接触を阻止する接触阻止部を備える、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項５】
請求項１に記載の光量調節装置であって、
前記補強部は、前記本体部の基材を折り返して形成され、
前記接合部は、前記基材の折り返し部分の内側に形成されている、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項６】
請求項２に記載の光量調節装置であって、
前記他の部分は、
前記接合部との接触を回避する凹部を備える、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか一項に記載の光量調節装置であって、
前記羽根部材の変位範囲を規制するストッパを備え、
前記他の部分は、少なくとも前記ストッパを含む、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか一項に記載の光量調節装置であって、
前記羽根部材を、前記開口部を開閉する方向に回動自在に支持する支持軸を備え、
前記羽根部材は、前記支持軸が挿通する孔を備え、
前記他の部分は、少なくとも前記支持軸を含む、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項９】
請求項８に記載の光量調節装置であって、
前記羽根部材に回動力を付勢する駆動軸を備え、
前記羽根部材は、前記駆動軸が挿通する溝を備え、
前記他の部分は、少なくとも前記駆動軸を含む、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項１０】
請求項１～９のいずれか一項に記載の光量調節装置であって、
前記接合部は、粘着剤、又は、両面テープにより形成される、
ことを特徴とする光量調節装置。
【請求項１１】
請求項１～１０のいずれか一項に記載の光量調節装置を備える、
ことを特徴とする光学機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明によれば、例えば、光を通過させる開口部と、前記開口部を開閉する方向に変位可能な羽根部材と、を備えた光量調節装置であって、前記羽根部材は、本体部と、前記本体部の上に配設され、前記本体部よりも小さい面積を有する補強部と、前記本体部と前記補強部との間に介在し、これらを接合する接合部と、を備え、前記補強部は、前記羽根部材が前記光量調節装置の他の部分と当接する部位を構成すると共に、前記接合部は前記他

の部分と接触しないように形成されている、ことを特徴とする光量調節装置が提供される。